

# 吉舎保健センター空調設備改修工事設計図

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX 0847-67-3808	図面名 表紙		工事名 吉舎保健センター空調設備改修工事 設計図						
				縮尺	—	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				
												No. A - 0

建物概要		
工事名称	吉舎保健センター空調設備改修工事	
	住所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
発注者	氏名	三次市長 福岡 誠志
	地名地番	広島県三次市吉舎町吉舎723-1
敷地概要	敷地面積	
	都市計画区域	都市計画区域内
	用途地域	指定なし
	防火地域	指定なし
	指定建ぺい率	指定なし
	指定容積率	指定なし
	高さ制限	指定なし
	高度地区	指定なし
	日影規制	指定なし
	外壁の後退	指定なし
	風致地区	指定なし
建築概要	その他の指定	なし
	道路	前面道路幅員 5,800mm
	建物用途	福祉保健施設（保健センター）
	工事の種類	改修（空調設備）
	構造	木造
	階数	平家建
	最高高さ	9,450mm
	軒高さ	6,800mm
	天井高さ	図示
	建築面積	837.25㎡
	延べ面積	774.12㎡

## 工事概要

本工事は、吉舎保健センター空調設備改修工事です。

・その他工事

上記工事に伴う工事1式

施設を使用しながらの空調設備改修工事を、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。  
また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。  
尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。  
別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。  
不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

・工事工程等

事前に関係者（高齢者福祉課・保健センター・吉舎支所・都市建築課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、下記の を考慮の上、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りですが、保健センターの為、施工日及び時間に制限があります。  
（特に施設内への出入りや音の発生する作業は事前調整が必要となります。）

・備品等の移動及び復旧

備品等の工事に支障となる物の移動及び復旧等は全て工事請負の負担に行ってください。

・工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

## 【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料とすること。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨むこと。  
尚、内訳明細書の項目や数量等に疑義がある場合は入札日前の所定の期間内に協議書を提出ください。

## 【 指示事項 】

- ①工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。
- ②工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。  
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに諸請負者で保証し解決を図ること。
- ③消火器等を設置して火災等発生しないよう最善の注意をすること。  
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形に応じ火災保険を締結し保険証書（写し）を提出すること。  
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。  
尚、建物内及び敷地内は全て禁煙とする。
- ④振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。  
もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。
- ⑤作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。
- ⑥着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。  
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上の変れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。
- ⑦水道等の既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。

- ⑧図面を製本し提出すること。
  - ・A 4 版 2 部（表紙付、契約用）
  - ・A 3 版 部（現場用）
  - ◎A 4 版 3 部（現場用）（A3 2ツ折り製本）

⑨不明な点については、係員と協議の上施工すること。

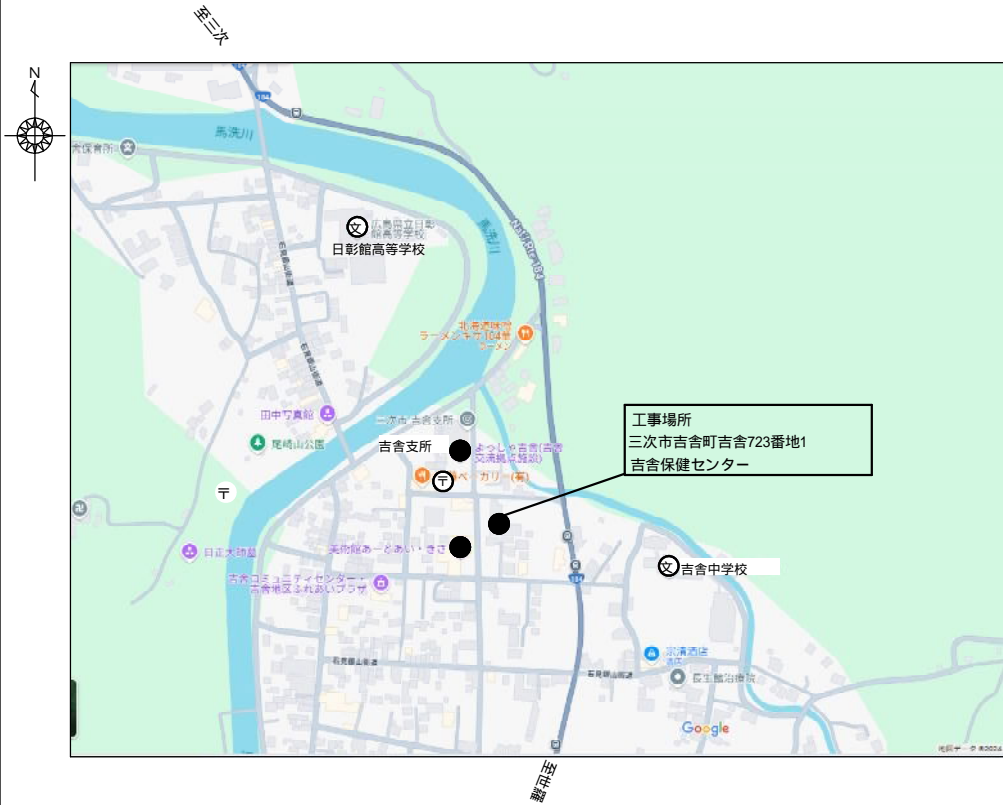
⑩解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。  
必要に応じてマニフェストを提出すること。

⑪各図面に建築、機械等工事区分を記載していますが、一括発注の為全て本工事に含むものとします。

提出書類一覧 提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。  
提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。 提出書類はA 4 又はA3二つ折とする事。

工事名	吉舎保健センター空調設備改修工事		請負業者		
	項 目	部数	提出期日	備考	
○	1 着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事	
○	2 主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付	
○	3 同上誓約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付	
○	4 工事カルテ（コリンス）	3	10日以内	請負契約500万円以上	
○	5 詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度	
○	6 見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版	
○	7 施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共	
○	8 退職金共済制度(建退共)	3	14日以内		
○	9 工事材料搬入・検査報告書(材料確認書)	3	事由発生後14日以内	納入実績量共	
○	10 総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付	
○	11 提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10 c m用程度	
○	12 建設リサイクル法届	3	契約時		
	13 消防設備設置計画書	3	工事着手前	Q8設置で必要な場合	
	14 給水装置工事申込書及び完了届，完了検査	3	工事着手前		
	15 排水設備等計画確認申請書（給水設備共）	3	工事着手前	完了届共	
○	16 社会保険等	3	各工事着手前		
○	17 再生資源利用計画書	3	工事着手前		
○	18 大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項，3項	
○	19 工事前用保険証の写し(火災保険共)	3	着工前	工期の20日延長	
○	20 施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前		
○	21 施工計画書	3	各工事着手前		
○	22 材料承認願い等	3	各工事着手前		
○	23 主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可	
○	24 コンクリート配合表	3	工事着手前		
○	25 コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4週（工場）	
○	26 休祭日作業届	3	工事着手前		
○	27 期間別工事工程報告書(現況写真添付のこと)	3	毎月2回	工程が確認できるように撮影	
○	28 工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付	
○	29 工事打合簿，工事指示書，工程会議資料等	3	随 時		
○	30 質疑回答書	3	必要に応じて		
○	31 産廃契約書及びマニフェスト写し	3	受領後速やかに	写真添付	
	32 アスファルト調合表、試験表	3	随 時		
	33 工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと	
	34 鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等	
○	35 各種試験成績書(アンカー引抜，溶接探傷等)	3	随 時	GCH(2台共)	
○	36 機能及び性能試験成績書（空調機温度測定等）	3	随 時		
	37 出来高請求書	3	随 時	写真添付	
○	38 再資源化等報告書	3	完了後速やかに		
○	39 材料出荷証明書	3	完了時		
	40 塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共	
○	41 電気絶縁抵抗試験表	3	完了時		
	42 テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時		
	43 接地抵抗試験表	3	完了時		
	44 水圧試験報告書	3	完了時		
○	ガス気密試験報告書-各種試験報告書	3	完了時		
△	電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合	
△	水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合	
○	安全実施報告書（KY,パトロール,安全日誌等）	3	完了時		
○	下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所，電話他記載	
○	社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時		
○	各工事保証書(防水)	3	完了時		
	52 鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時		
○	53 竣工図（文字入り製本・A 3 版二つ折）CD共	3	完了時	原図を訂正のこと	
○	54 工事写真	3	完了時	C Dデータ	
○	55 完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	C Dデータ	
○	56 完成通知届	3	完了14日前迄に		
○	57 引渡書	3	検査通知後14日以内		
○	58 上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時		

【特記事項】 上記18の事前調査は、定性分析とします。



付近見取図

MEMO	(縮小率：A2=100%，A3=70%)			有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録( 24(1)第3940号 ) FAX0847-67-3808		図面名 工事概要・付近見取図		工事名 吉舎保健センター空調設備改修工事 設 計 図						
						縮尺	—	製作日	1級建築士 第111572号	永井秀昭				No. A - 1

工事概要

1 工事名称吉舎保健センター空調設備改修工事

2 建築場所三次市吉舎町吉舎723-1

3 主要用途福祉保健施設（保健センター）

4 工事種別空調機設備工事及び電気設備工事

5 構造階数木造平家建て

6 工事種目1, 建築工 一式

2, 電気設備工 一式

3, 機械設備工 一式

4, 上記に伴う工事 一式

建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標準」という。）改修工事標準仕様書共

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、○印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別 )は(5.3.7)による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また( )内は製品名を示す。

(6) [G] 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

(7) 瑕疵担保調査・建設工事請負契約款に定める期間内

章

項 目

特 記 事 項

1 一般共通事項

① 通用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築監修 最新版）

○建築設備設計基準・同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修 最新版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録

適用する

(1.1.4)

③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。

風速（V0=30）

地表面粗度区分（. . . . .）

○積雪区分 建com第1455号 40 cm

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・要 ○不要

(1.3.3)

5 条件明示項目

(1.3.5)

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）

・特別管理産業廃棄物（ ）

・現場再利用を図るもの（ ）

○再生資源化を図るもの（ ）

（ ・建設発生土 ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○鉄くず）

○上記以外 1.1.13(b)(5) ,及び監督職員との協議による。

(1) 建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。

また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法。」）及び「『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』（以下「廃掃法。」）を遵守し、適正に処理すること。

(2) 元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。

(3) 建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地に於いて現地による確認、立入検査を行うこと。

(4) 提出書類

元請け業者は、工事前手前に、次の書類を監督員に提出すること。

○建設廃棄物処理施工計画書

以下の書類を添付すること。

ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し

イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したもの。

ウ 処分場の現地確認写真

エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との2者の業務委託契約書の写し

○再生資源利用計画書

○再生資源利用促進計画書

(1.3.8)

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

縦筋工法

・アースドリル工法（安定液使用 ・無水掘削）（4.5.4）

・リバーシ工法

・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）

・深埋

側壁測定

・行う( ) ・行わない（4.5.4）

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

OSD295

D16以下

SD345

D19～D25

SD390

D29以上

○溶接全周

100×100×3.2

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手（5.3.4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

縦筋工法

・アースドリル工法（安定液使用 ・無水掘削）（4.5.4）

・リバーシ工法

・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）

・深埋

側壁測定

・行う( ) ・行わない（4.5.4）

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

OSD295

D16以下

SD345

D19～D25

SD390

D29以上

○溶接全周

100×100×3.2

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手（5.3.4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

縦筋工法

・アースドリル工法（安定液使用 ・無水掘削）（4.5.4）

・リバーシ工法

・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）

・深埋

側壁測定

・行う( ) ・行わない（4.5.4）

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

OSD295

D16以下

SD345

D19～D25

SD390

D29以上

○溶接全周

100×100×3.2

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手（5.3.4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

縦筋工法

・アースドリル工法（安定液使用 ・無水掘削）（4.5.4）

・リバーシ工法

・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）

・深埋

側壁測定

・行う( ) ・行わない（4.5.4）

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

OSD295

D16以下

SD345

D19～D25

SD390

D29以上

○溶接全周

100×100×3.2

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手（5.3.4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類

5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

縦筋工法

・アースドリル工法（安定液使用 ・無水掘削）（4.5.4）

・リバーシ工法

・オルケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・拡底杭工法（安定液使用 ・ ）

・深埋

側壁測定

・行う( ) ・行わない（4.5.4）

セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

・別図参照

2A 鋼管杭

再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

3 砂利地業

(4.6.6)

4 床下防湿層

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

(5.2.1)（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

OSD295

D16以下

SD345

D19～D25

SD390

D29以上

○溶接全周

100×100×3.2

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ガス圧接 ○重な継手（5.3.4）

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕表5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

⑨ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ）共 提出部数 各3部 ・部

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑩ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

べた焼

(他に外観正面1カットのみ5枚（カラーキャビネ版）提出）

カラー半切木製パネル 外部( ) 内部( ) 2

324x400(mm)

○電子データ

外部(3) 内部(各室1枚)

3

1000万画素以上

300dpi以上

100x125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑪ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑫ 設計GL

図示 ○設計GL=現状GL（既設建仕に準ずる）

⑬ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑭ 保証書

○保証期間：2年 ○A-保証共

2 仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設計ない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有 償 ・無償）（2.3.1）

3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [G]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ・構外搬出適切処理（3.2.5）

・構内指示の場所にたい種 ・構内指示の場所に敷き均し

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

3 整地

4 地業工事

1 既設コンクリート杭地業

1A 地盤改良

種類

高強度プレストレストコンクリート杭

(4.3.1-2)

図示

試験杭

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セット数

備考

本杭

杭頭の処理

切断しない（4.3.7）

先端部形状

開放形 ・閉そく平たん形（4.3.2）

杭の継手

建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法

(4.3.3-5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中堀拡大根固め工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式で =250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

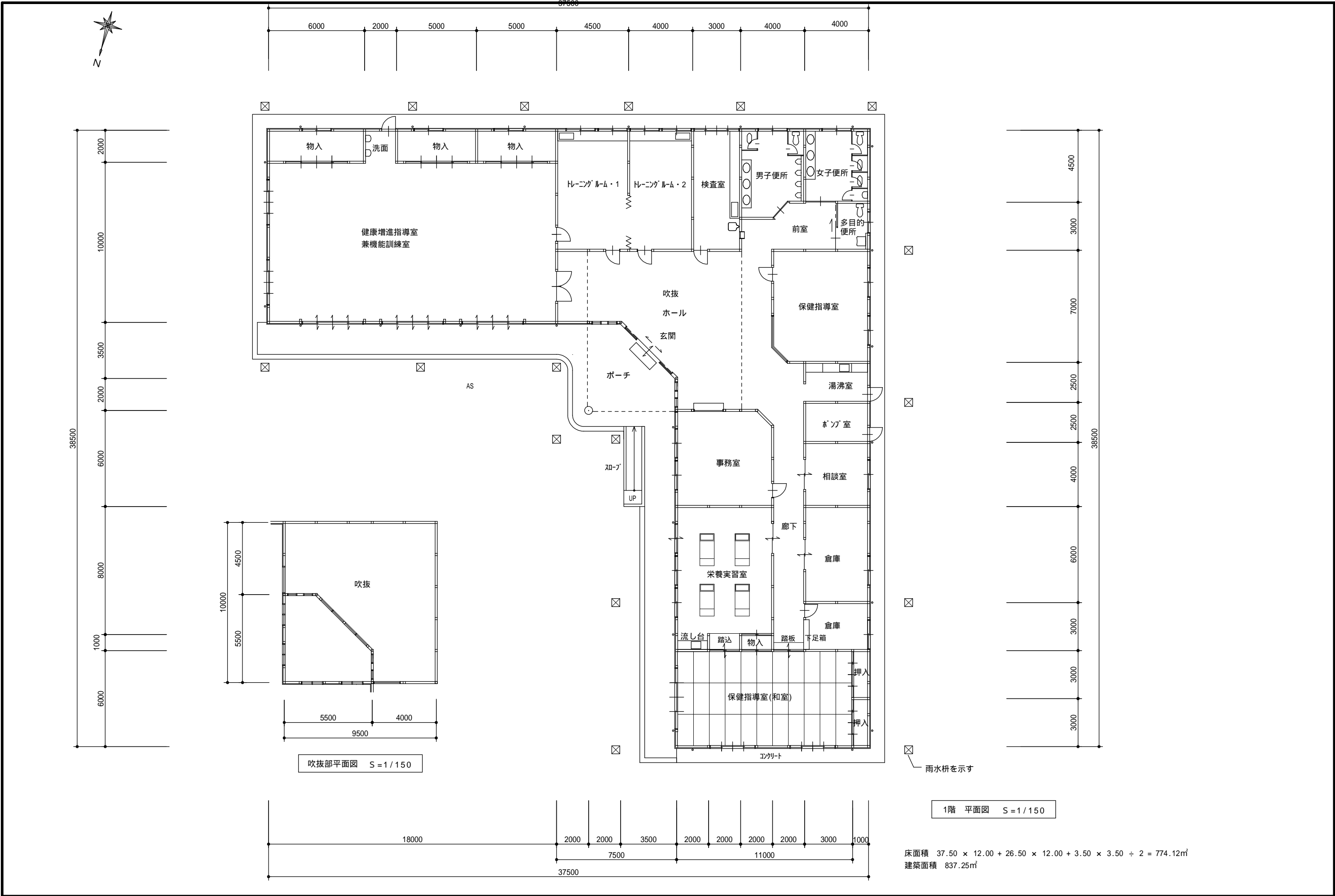
セメントの種類

6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

( )種かつ(2.1)N/mm<sup>2</sup>以上





MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8

TEL 0847-67-2472

広島県知事登録 (24(1)第3940号)

FAX 0847-67-3808

図面名 既設 平面図

縮尺 S = 1 / 150

製作日

工事名 吉舎保健センター空調設備改修工事 設計図


1級建築士  
第111572号

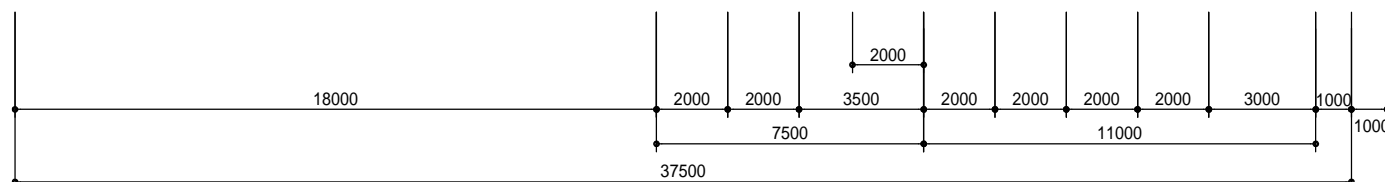
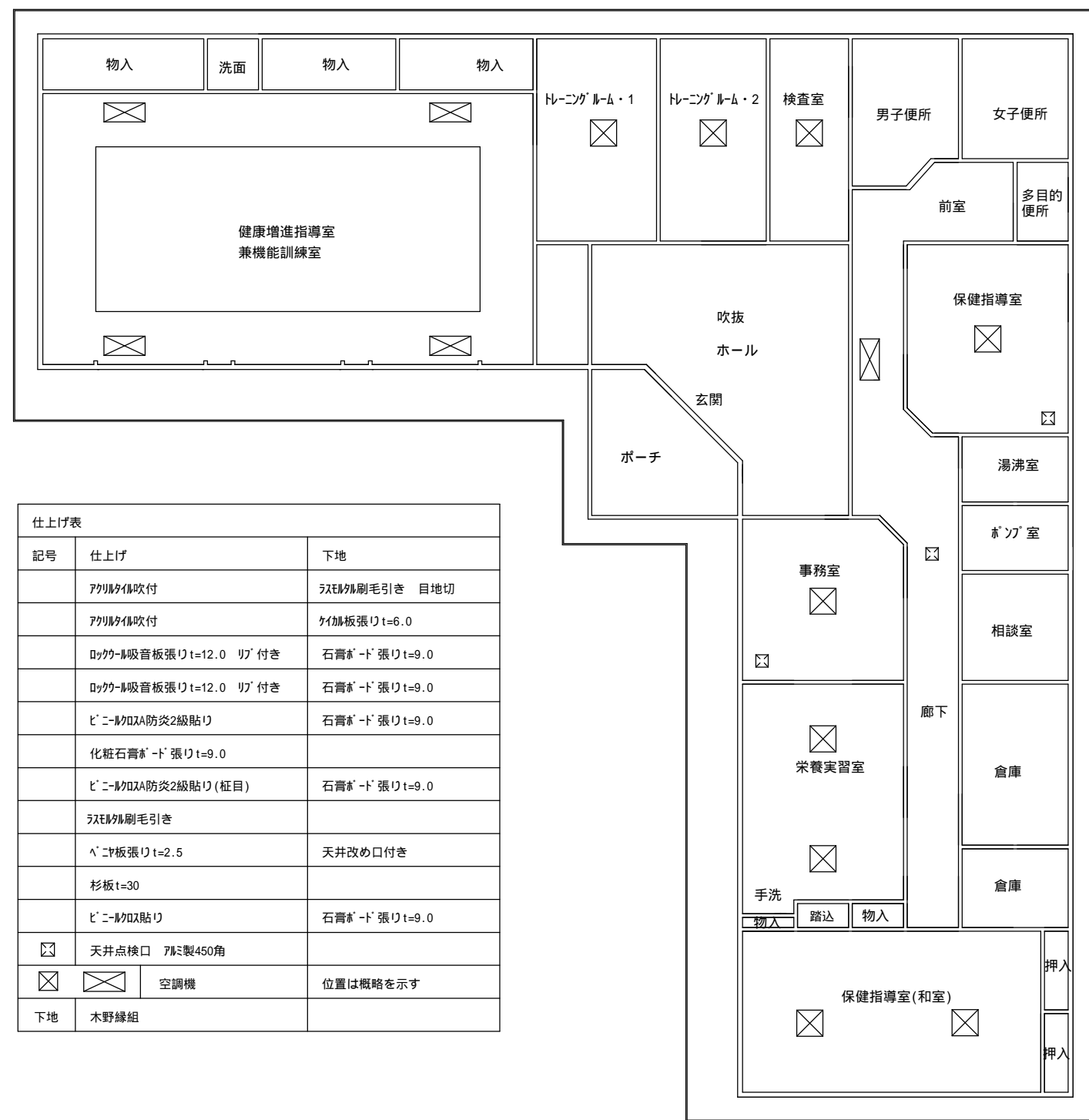
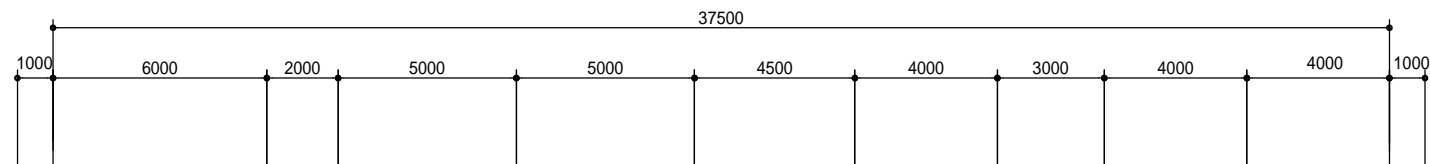
永井秀昭

No. A - 4

外部仕上表			
部 位	摘 要	部 位	摘 要
屋 根	石州瓦葺き 下地22kg アスファルト・フィング 貼り	開 口 部	玄関：ステンレス製      その他：アルミ製（シルバー）
軒 裏	ラス下地モルタル刷毛引仕上の上目地切り    アクリルタイル吹付け仕上	ボ ー チ	150角タイル貼り（一部身障者用タイル貼り）
樋	角型塩ビ製スチール芯入り    内樋コイル巻銅板板    t=0.8mm    水切フッ素銅板    t=0.5mm	ボ ー チ 天 井	ケイ酸カルシウム板    t=5mm    下地補修の上アクリルタイル吹付け仕上げ
豎 樋	VP      VEP塗装	ス ロ ー プ	床：ノンスリップタイル貼り    立上り：コンクリート打放し    アクリルタイル吹付
外 壁	ALC版    t=37（ラス網入り）      下地処理の上    アクリルタイル吹付け仕上	犬 走 り	コンクリート金ゴテ押工、150角タイル貼り    土間コンクリート    t=100    鉄筋D10    @200    タテ，ヨコ共    外構・アスファルト舗装    t=40
根 廻 り	コンクリート打放し    化粧仕上	備 考	・掲示板    ・ゴムマット    ・建物名称文字（9文字）    ステンレス300角    定礎石（大理石    450×450×30）    ・妻換気ガリ    ・床下換気孔

内部仕上表											（特記事項）天井下地組は、木野縁組    全面グラスウール    t=50    敷込み	
	床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	塗 装	CH	室名札	ブラインド	摘 要		
玄 関 ホ ー ル	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ビニルクロスA（防災2級）	木部   OP	6000		○			
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
事 務 室	長尺塩ビシート    t=2.0	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ロックウール吸音板    t=12（リブ付）	木部   OP	2700	○	○	行事用黒板（ホワイトボード）		
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
健康増進指導室 兼   機能訓練室	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ビニルクロスA（防災2級）    下地石膏ボード    t=9	木部   OP	3200	○	○			
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	ロックウール吸音板    t=12(リブ付)    下地   t=9   PB捨て貼		3000					
保健指導室	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ロックウール吸音板    t=12(リブ付）	木部   OP	2700	○	○			
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	下地石膏ボード    t=9							
保健指導室（和室）	畳	タタミ寄せ	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA    柱目（防災2級）	木部   ワックス掛	2700	○	カーテン   W	押入   物入		
			石膏ボード    t=9    下地      （ジュラク）	石膏ボード    t=9    下地      （ジュラク）	下地    石膏ボード    t=9.0					防災		
栄養実習室	長尺塩ビシート    t=2.0	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	化粧石膏ボード    t=9	木部   OP	2700	○	○	掲示板，流し台，オープン，電子レンジ		
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地								
トレーニングルーム・1	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ロックウール吸音板    t=12(リブ付)	木部   OP	2700	○	○	戸棚    天板（人造大理石）    アコーディオンカーテン		
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
トレーニングルーム・2	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ロックウール吸音板    t=12(リブ付）	木部   OP	2700	○	○	戸棚    天板（人造大理石）    アコーディオンカーテン		
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
検 査 室	タイルカーペット    t=6.5	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ロックウール吸音板    t=12(リブ付）	木部   OP	2700	○	○	戸棚    天板（人造大理石）    検尿受け台		
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
湯 沸 室	長尺塩ビシート    t=2.0	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	化粧石膏ボード    t=9	木部   OP	2500	○		流し台    調理台    コンロ台		
			一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0	一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0						吊り戸棚    レンヂフード    瞬間湯沸し器		
相 談 室	長尺塩ビシート    t=2.0	化粧巾木	ビニールクロス	ビニールクロス	ビニールクロス	木部   OP	2500	○				
					PB   t=9   捨貼り							
便 所 前 室	長尺塩ビシート    t=2.0	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ビニルクロスA（防災2級）	木部   OP	2500	○		検尿受け台		
			一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0	一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0	PB   t=9   捨貼り							
便 所 （ 男 女 ）	タイル貼り	化粧巾木	100角タイル貼り	100角タイル貼り	化粧石膏ボード    t=9	木部   OP	2500	○				
			一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0	一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0								
多 目 的 便 所	長尺塩ビシート    t=2.5 （ ノンスリップ ）	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	化粧石膏ボード    t=9	木部   OP	2500	○				
			一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0	一部100角タイル貼り    下地ｼｰｼﾞﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ    t=9.0								
廊 下	タイルカーペット    t=6.5 一部身障者用タイル	化粧巾木	ビニールクロスA（防災2級）	ビニールクロスA（防災2級）	ビニルクロスA（防災2級）	木部   OP	2700	○				
			石膏ボード    t=9    下地	石膏ボード    t=9    下地	PB   t=9   捨貼り							
物入・倉庫	長尺塩ビシート    t=2.0	コンクリート打放し化粧	ラワンベニヤ    t=4	ラワンベニヤ    t=4	ラワンベニヤ    t=2.5	――	2500	○		天井改め口		
ポン プ 室	コンクリート金ゴテ仕上	化粧巾木	ラスモルタル刷毛引	ラスモルタル刷毛引	ラスモルタル刷毛引	――	2500	○		受水槽    6 t      （埋設）		

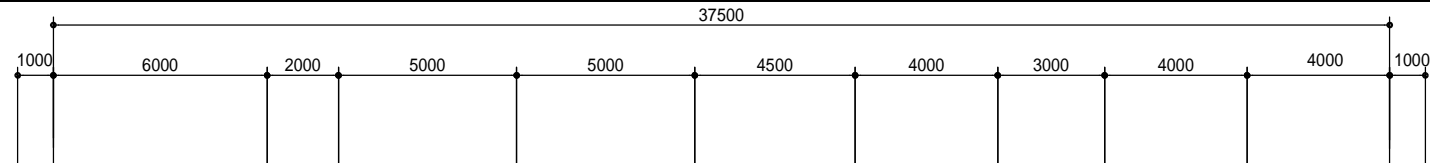
MEMO	( 縮小率 : A2 = 100% , A3 = 70% )		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8    T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 )    F A X 0847-67-3808	図面名      外部・内部    仕上表 ( 既設参考図 )		工事名      吉 倉 保 健 セ ン タ ー 空 調 設 備 改 修 工 事      設 計 図							
				縮尺      ———	製作日	1 級 建 築 士    永 井 秀 昭					No.    A    -    5		
	第111572号												



広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472  
 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX 0847-67-3808

縮尺	S = 1 / 150	製作日
----	-------------	-----









1級建築士 第111572号	永井秀昭			No. A - 6
-------------------	------	--	--	-----------



The diagram illustrates a vertical line with several points and horizontal segments. The total length of the line is 38500. The points are marked at 6000, 1000, 8000, 2000, 10000, 3500, 2000, 10000, 2000, and 1000. A segment of 2000 is indicated between 3500 and 2000.

物入	洗面	物入	物入
----	----	----	----

<div style="text-align: center;">             既設のまま         </div> <div style="text-align: center;">             新規穴あけ開口         </div> <div style="text-align: center;">           健康増進指導室 兼機能訓練室         </div> <div style="text-align: center;">             新規穴あけ開口         </div> <div style="text-align: center;">             既設のまま         </div>	<div style="text-align: center;">             既設のまま         </div> <div style="text-align: center;">             新規穴あけ開口         </div> <div style="text-align: center;">             新規穴あけ開口         </div> <div style="text-align: center;">             既設のまま         </div>
---	---

A horizontal number line diagram illustrating the addition of 18,000 and 1,900. The number line starts at 0 and has a point at 18,000. From 18,000, a series of jumps are shown: 2,000, 2,000, 3,500, 2,000, 2,000, 2,000, 2,000, 3,000, and 1,000. The total length of the jumps is labeled as 1,900. The final point on the number line is labeled 20,000.

The diagram illustrates the construction of a 38500-length sequence from a 10000-length sequence. The top part shows a sequence of 10000 elements, with a segment of 3000 elements highlighted. The bottom part shows the resulting 38500-length sequence, which is a concatenation of the original 10000-length sequence and a new 28500-length sequence. The new sequence is constructed by repeating the 3000-element segment 9.5 times, with a final segment of 1500 elements.



1級建築士 第111572号	永井秀昭			No. A - 7
-------------------	------	--	--	-----------



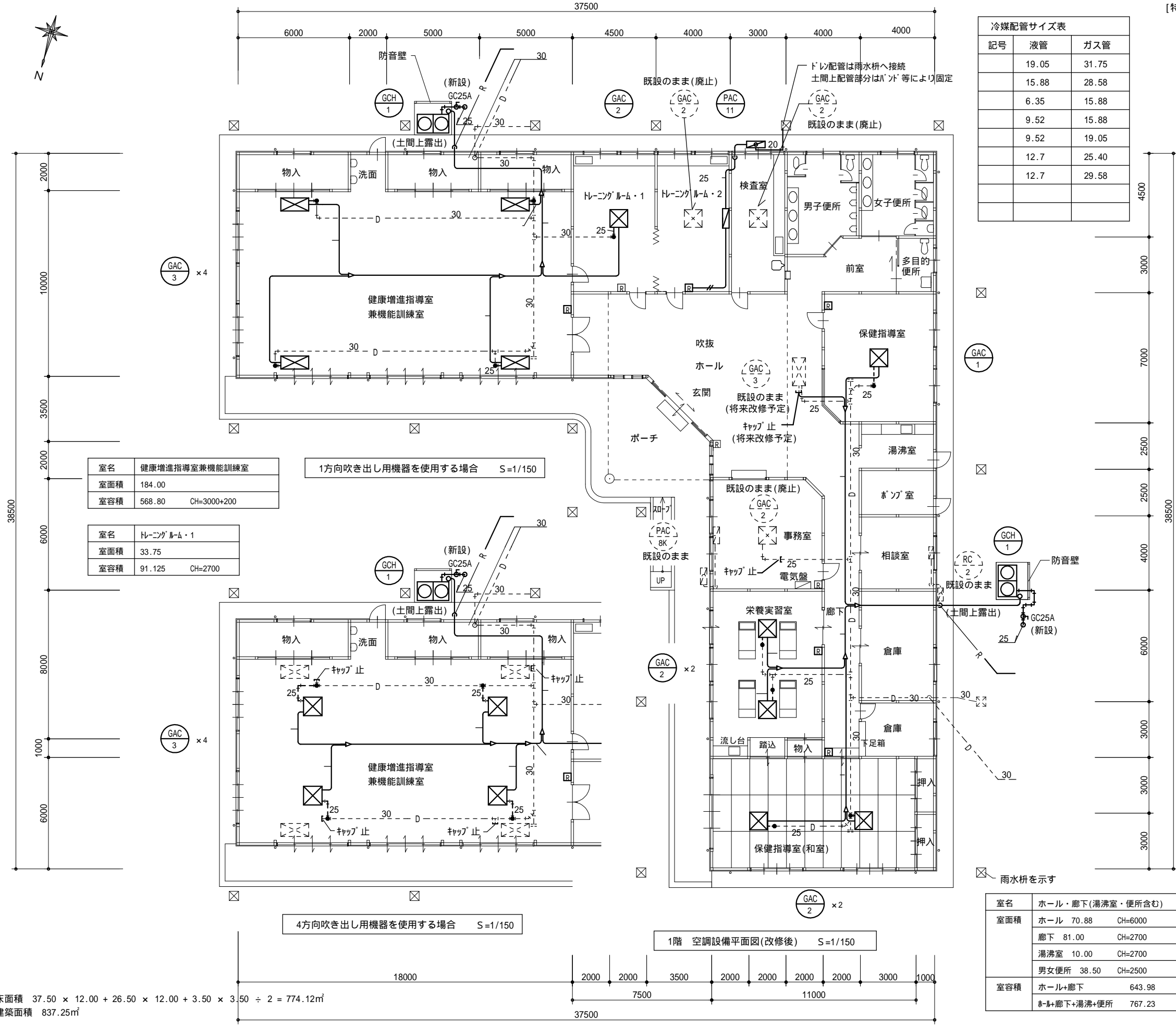


特記仕様書

建 物 概 要			工 事 概 要										配 管 材 料 お よ び 保 温 材														
工 事 名 称	吉舎保健センター空調設備改修工事		給 排 水 衛 生 設 備 工 事										空 気 調 和 設 備 工 事				名 称	材 料		保 温 材	区 分						
工 事 場 所	三次市吉舎町吉舎723-1		給 水 設 備 工 事										設 計 条 件		夏 季 乾球温度 相対湿度	冬 季 乾球温度 相対湿度	給 水 管										
工 事 種 別	・ 新 築 ・ 増 築 ・ 改 築 ○ 更 新		給 水 源																		外 気	内 気		%	%		
主 体 構 造	・ R C ・ A L C ○ 木造 ・ 簡易耐火構造 ・ S造		給 水 方 式																								
階 数	地上 1 階 地下 階 塔屋 階		引 込 管																								
面 積	建 物 名 称	延面積 ( m <sup>2</sup> )	備 考		追 記 事 項	排 水 設 備 工 事										機 器 設 備 工 事	排 水 管										
	保健センター	774.12				排 水 方 式																					
						屋 内 (汚水・雑排水) ・ 合流式 ・ 分流式																					
						屋 外 (汚水・雨水) ・ 合流式 ・ 分流式																					
						放 流 管																					
工 事 項 目			接 続 管										空 調 機 器										追 記 事 項	○ その他図示による			
・ 給排水衛生設備			○ 空気調和設備										換 気 設 備 工 事														
・ 衛 生 器 具 設 備 工 事			○ 冷 暖 房 設 備 工 事										第 1 種 第 2 種 第 3 種														
・ 給 水 設 備 工 事			・ 換 気 設 備 工 事										中 央 式 局 所 式														
・ 排 水 設 備 工 事			・ 床 暖 房 設 備 工 事										換 気 扇 天 井 扇 全 熱 交 換 器 ( 天 井 埋 込 )										追 記 事 項	○ ヒートポンプ ○ 空 冷 ・ 水 冷			
・ 給 湯 設 備 工 事			・ ダ ク ト 設 備 工 事										・ 床 置 ○ 天 井 ○ カセット														
・ ガ ス 設 備 工 事			・ 配 管 設 備 工 事										○ 隠 蔽 ・ 露 出 ○ 壁 掛														
・ 消 火 設 備 工 事			・ 自 動 制 御 設 備 工 事																								
・ 浄 化 槽 設 備 工 事			・ 排 煙 設 備 工 事																				冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				
																							冷 媒 管				

空調機器表  改修前	記号	名 称	機 器 仕 様		電 源	参 考 型 式	台数	備 考	
	GCH-1	ガスヒートポンプエアコン室外機	能力	冷 房：45,500Kcal/h（52.90KW） 暖 房：52,000Kcal/h（60.46KW）	3相200V	SGP-CH450E	2	屋外	
			電力・ガス	冷 房：1.60KW LPG2.27m3N/h 暖 房：1.68KW LPG2.02m3N/h					
	GAC-1	同上カセット型室内機	能力	冷 房：7,500Kcal/h（8.7KW） 暖 房：8,400Kcal/h（9.7KW）	単相200V	SGP-SH75E	1	保健指導室	
			消費電力	冷 房：0.174Kw 暖 房：0.124Kw					
	GAC-2	同上カセット型室内機	能力	冷 房：6,300Kcal/h（7.3KW） 暖 房：7,100Kcal/h（8.2KW）	単相200V	SGP-SH63E	8	保健指導室(和室)・栄養実習室・事務室	
			消費電力	冷 房：0.154Kw 暖 房：0.1Kw					
	GAC-3	同一方向カセット型室内機	能力	冷 房：7,500Kcal/h（8.7KW） 暖 房：8,400Kcal/h（9.7KW）	単相200V	SGP-SLH75E	5	健康増進指導室兼機能訓練室・ホール	
			消費電力	冷 房：0.144Kw 暖 房：0.105Kw					
	PAC-8K	空冷式ヒートポンプエアコン	型式	壁掛型	単相200V	東芝 室外機ROA-AP806HSJ	1	事務室	
			能力	冷 房：7.0 Kw 暖 房：8.0 Kw		室内ユニットAIK-AP806H			
			圧縮機	1.4 Kw		冷媒R410A 2.1Kg		ｺﾝｸﾘｰﾄPC架台120*120	
			送風機	室内機：0.06KW 室外機：0.03KW					
			付属品	リモコン					
	RC-2	ルームエアコン	型式	壁掛型	単相100V	東芝 RAS-G281E2AR	1	相談室	
			能力	冷 房：2.8 Kw 暖 房：3.6Kw 圧縮機 0.75KW プラスチック架台		冷媒R410A 0.84Kg			

空調機器表  改修後	記号	名 称	機 器 仕 様		電 源	参 考 型 式	台数	備 考	
	GCH-1	ガスヒートポンプエアコン室外機 （プロパンガス）	能力	定格冷房：45.0KW 定格暖房：50.0KW	3相200V	U-GH450U1D	2	屋外	更新・既設撤去・廃棄処分
			電力・ガス	定格冷房：1.14/1.14KW 36.4KW 定格暖房：0.510/0.510 34.9KW					
			その他	送風装置 0.75×2KW 原動機出力 10.0KW 臭気対応					
				ガス管28.58（ろう付）液管12.7（ろう付）防振架台 分岐管					
	GAC-1	同上カセット型室内機	型式	天井カセット型 4方向吹出	単相200V	S-G80UU1	1	保健指導室	更新・既設撤去・廃棄処分
			能力	冷 房：8.0KW 暖 房：9.0KW					
			消費電力	冷 房：0.040KW 暖 房：0.040KW					
			その他	送風装置 0.036KW(10P) ガス管15.88（フレア）液管9.52（フレア）					
				ドレンポンプ内蔵（VP25）					
	GAC-2	同上カセット型室内機	付属品	ワイヤードリモコン 天井パネル 冷媒分流器他	単相200V	S-G80UU1	5	保健指導室(和室)・栄養実習室 トレーニングルーム・1	更新・既設撤去・廃棄処分
			型式	天井カセット型 4方向吹出					
			能力	冷 房：8.0KW 暖 房：9.0KW					
			消費電力	冷 房：0.040KW 暖 房：0.040KW					
			その他	送風装置 0.036KW(10P) ガス管15.88（フレア）液管9.52（フレア）					
				ドレンポンプ内蔵（VP25）					
	GAC-3	同上カセット型室内機 （高天井用）	付属品	ワイヤードリモコン 天井パネル 冷媒分流器他	単相200V	S-G80DS1(3)	4	健康増進指導室兼機能訓練室 4方向吹出の機器を使用する場合は監督の承諾を得るものとする。	更新・既設撤去・廃棄処分
			型式	天井カセット型 1方向吹出					
			能力	冷 房：8.0KW 暖 房：9.0KW					
			消費電力	冷 房：0.082Kw 暖 房：0.071Kw					
			その他	送風装置 0.036KW(8P) ガス管15.88（フレア）液管9.52（フレア）					
				ドレンポンプ内蔵（VP25）					
	PAC-11	空冷式ヒートポンプエアコン	付属品	ワイヤードリモコン 天井パネル 冷媒分流器他	単相200V	SZRA80BYV LU-P80H7SB・CS-P80K7B	1	トレーニングルーム2	新設
			型式	壁掛型					
			能力	冷 房：7.1（3.2～8.0）KW 暖 房：8.0（3.6～9.5）KW					
			圧縮機	1.4 Kw					
			送風機	室内機：0.06 KW 室外機：0.03 KW					
	PAC-8K	空冷式ヒートポンプエアコン	付属品	ワイヤレスリモコン 転倒防止金具（新設） 樹脂製エアコン架台	単相200V	東芝 室外機ROA-AP806HSJ 室内ユニットAIK-AP806H 冷媒R410A 2.1Kg	1	事務室	既設のまま
			型式	壁掛型					
			能力	冷 房：7.3 Kw 暖 房：8.3 Kw					
			圧縮機	1.4 Kw					
			送風機	室内機：0.06KW 室外機：0.03KW					
	RC-2	ルームエアコン	付属品	ワイヤレスリモコン 転倒防止金具（新設） ｺﾝｸﾘｰﾄPC架台120*120	単相100V	東芝 RAS-G281E2AR 冷媒R410A 0.84Kg	1	相談室	既設のまま
			型式	壁掛型					
			能力	冷 房：2.8 Kw 暖 房：3.6Kw 圧縮機 0.75KW プラスチック架台					



冷媒配管サイズ表		
記号	液管	ガス管
	19.05	31.75
	15.88	28.58
	6.35	15.88
	9.52	15.88
	9.52	19.05
	12.7	25.40
	12.7	29.58

- [特記事項]
- 空調設備更新について・冷媒配管及び配線は全て新設とする。  
尚、冷媒配管、ドレン管の内、新設配管に支障の無き部分は残置とする。  
又、既設のまま(廃止)の室内機本体(化粧板)は残置とする。
  - 室内立下りのリモコン配線用配管は既設配管を利用する。但し、PAC-11は新設、もしくはAE-11とする。
  - 室内外の渡り配線は、冷媒管共巻とする。  
制御配線、渡り配線、配線は全て新設とする。  
ケーブル CEE1.25-2C (ころがし配線)  
ケーブル EEF-2.0-2C (管内配線)  
ケーブル EEF-2.0-2C 内外渡り線(ころがし配線)  
(但し、メーカー標準仕様による)
  - ドレン配管は再利用とし既設管に接続とする。
  - 更新機器部分の木野縁及びボードを切込み開口補強(補強共)を行い機器を取付ける。
  - 天井開口廻りで隙間が発生する場合は、既設天井仕様にて補修するか、またはワイドパネルにて調整する。
  - 機器吊りボルトの新設は陸梁もしくはトラス梁又は母屋を利用し吊りボルトの長さが1500mmを超える場合は、振れ止めを1500mm毎に取り付けること。
  - 改修の既設空調機器は撤去、廃棄処分とする。
  - 防音壁は既設のままとする。
  - D--- ドレン配管接続部を示す
  - ガス用 鉄製 サービス栓 25A G87 無断開栓防止付き
  - ルキング 継手 ステン製 Z-9000 25A×300L
  - 外部部分・冷媒用断熱材被覆鋼管用保温外装 ステン鋼板ラッキング  
土間上露出配管部分も"ノド"等によりに固定する
  - GCH-1取付用あと施工アンカーは引抜き試験を行い所定の強度が確保されている事を確認する事  
2台共 3箇所行う事  
メカにおいて計算式を提出する事

室名	トレーニングルーム・2
室面積	30.00
室容積	81.00 CH=2700

室名	検査室
室面積	22.5
室容積	60.75

室名	保健指導室
室面積	41.50
室容積	112.05 CH=2700

室名	事務室
室面積	35.50
室容積	95.85 CH=2700

室名	栄養実習室
室面積	50.00
室容積	135.00

室名	保健指導室(和室)
室面積	66.00
室容積	178.20 CH=2700

室名	相談室
室面積	16.00
室容積	43.20 CH=2700

室名	ホール・廊下(湯沸室・便所含む)
室面積	ホール 70.88 CH=6000 廊下 81.00 CH=2700 湯沸室 10.00 CH=2700 男女便所 38.50 CH=2500
室容積	ホール+廊下 643.98 ホール+廊下+湯沸+便所 767.23

床面積 37.50 × 12.00 + 26.50 × 12.00 + 3.50 × 3.50 ÷ 2 = 774.12㎡  
建築面積 837.25㎡

MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所  
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472  
広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX 0847-67-3808

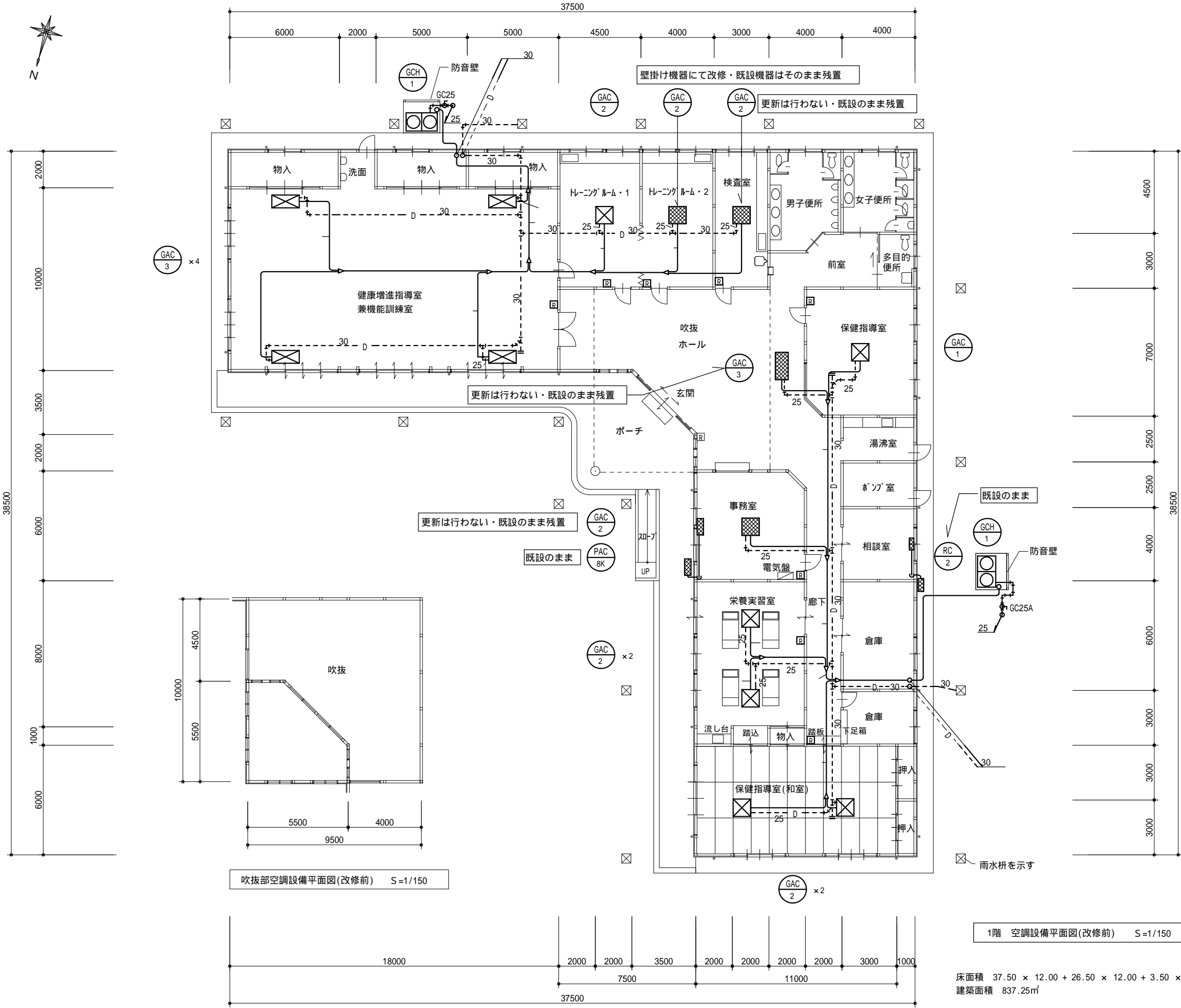
図面名 1階 空調設備平面図(改修後)

縮尺 S = 1/150

製作日

工事名 吉舎保健センター空調設備改修工事 設計図

1級建築士 永井秀昭 No. M - 3  
第111572号



冷媒配管サイズ表		
記号	液管	ガス管
	19.05	31.75
	15.88	28.58
	6.35	15.88

室名	健康増進指導室兼機能訓練室	
室面積	184.00	
室容積	568.80	CH=3000+200

室名	トレーニングルーム・1	
室面積	33.75	
室容積	91.125	CH=2700

室名	トレーニングルーム・2	
室面積	30.00	
室容積	81.00	CH=2700

室名	検査室	
室面積	22.5	
室容積	60.75	

室名	保健指導室	
室面積	41.50	
室容積	112.05	CH=2700

室名	事務室	
室面積	35.50	
室容積	95.85	CH=2700

室名	栄養実習室	
室面積	50.00	
室容積	135.00	

室名	保健指導室(和室)	
室面積	66.00	
室容積	178.20	CH=2700

室名	相談室	
室面積	16.00	
室容積	43.20	CH=2700

室名	ホール・廊下(湯沸室・便所含む)	
室面積	ホール	70.88 CH=6000
	廊下	81.00 CH=2700
	湯沸室	10.00 CH=2700
	男女便所	38.50 CH=2500
室容積	ホール+廊下	643.98
	ホール+廊下+湯沸+便所	767.23

床面積 37.50 × 12.00 + 26.50 × 12.00 + 3.50 × 3.50 ÷ 2 = 774.12㎡  
建築面積 837.25㎡

MEMO (縮小率：A2=100%，A3=70%)



有限会社 永井一級建築士事務所  
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472  
広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名 1階 空調設備平面図(改修前)

縮尺 S=1/150

製作日

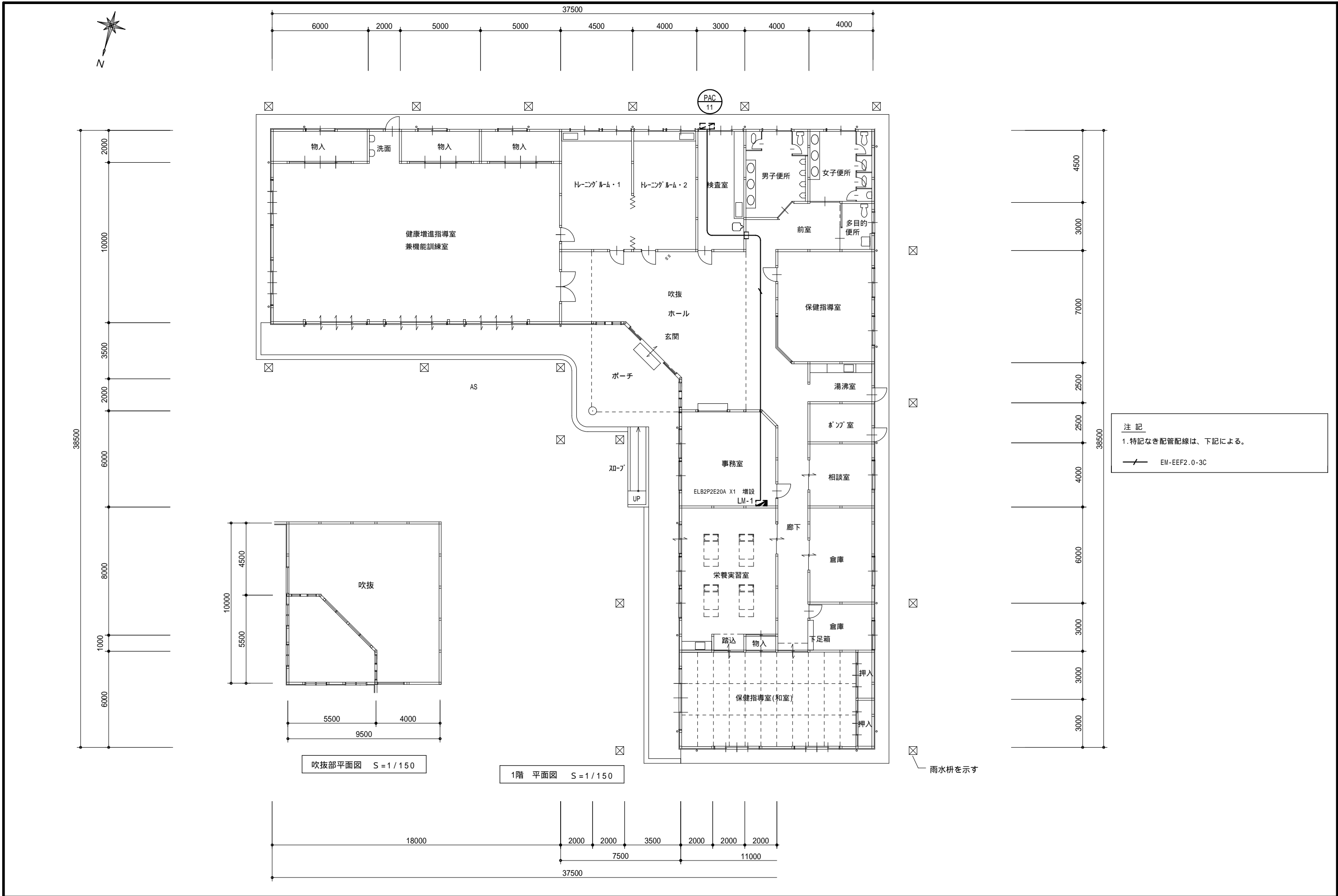
工事名 吉舎保健センター空調設備改修工事 設計図

1級建築士  
第111572号

永井秀昭

No. M - 4





MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472

広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) FAX 0847-67-3808

図面名

電気設備図

工事名

吉舎保健センター空調設備改修工事 設計図

縮尺

S = 1/150

製作日

1級建築士  
第111572号

永井秀昭

No. E - 2